

経営比較分析表（令和3年度決算）

栃木県 那珂川町

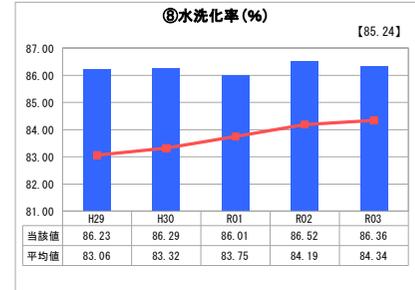
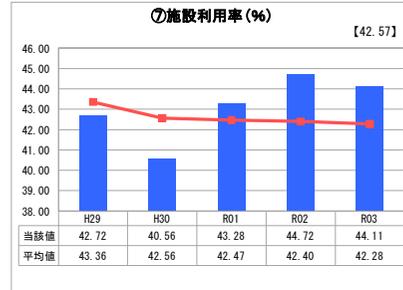
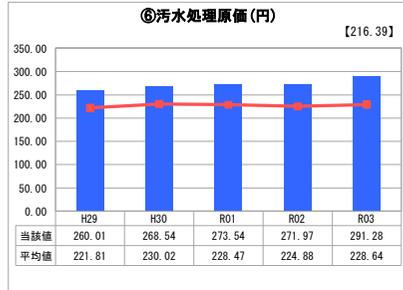
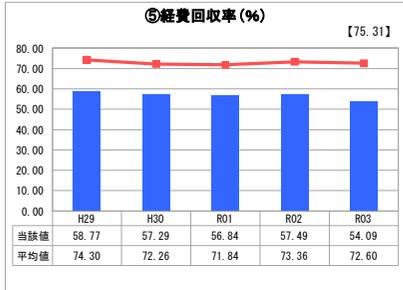
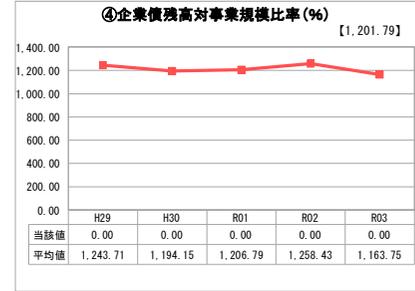
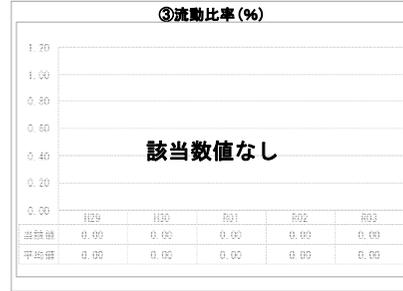
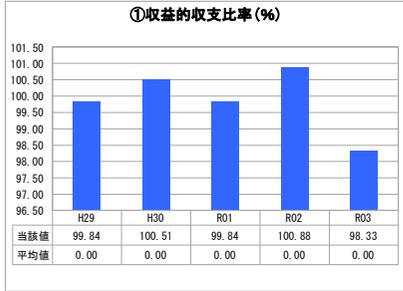
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	16.47	77.45	2,820

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,286	192.78	79.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,493	0.84	2,967.86

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

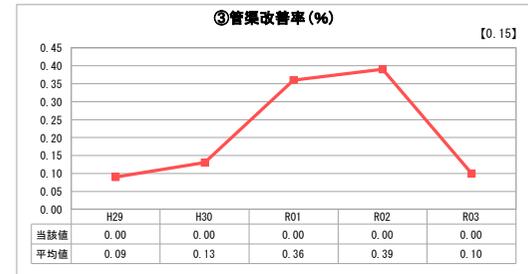
・汚水処理原単価が高く、経費回収率が100%を下回っていることから、汚水処理費を使用料収入で賄うのが困難な状況である。今後、使用料収入の増及び汚水処理費等の削減に向けた取組などの経営改善を図っていく必要がある。

・今後人口減少が予測されることから、有収水量の増加は見込めない。

2. 老朽化の状況について

・供用開始後30年程度経過しており、施設の老朽化が目立つようになってきた。今後、施設の点検・調査を定期的の実施し、計画的な対策を講じなければならない。

2. 老朽化の状況



全体総括

・人口減少等により、使用料収入の増加が見込めない状態であることから、経営健全化に向けた施策を検討していく必要がある。

・処理区域内の面整備は完了しており、新たな投資の予定はない。

・今後、老朽化に伴う改築更新については、優先順位により計画的に対策をおこなっていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。